

て来た書け 七よし、先づ筆をこう持たぞ豪からう 三人「何に豪いものか皆な見ろ
 書けねへやつは筆の持ようで知れるぞサアかけ 七先づ一本こうしくだらうハアハ
 三人「吐息をしていやあがるな跡を書け 七先づ五十銭の仕事をしたぞ、是から縦
 に一本棒をこうしいてそれから、ハテナ 三人「おや首を振ていやアがるぞ大いに頼
 むぜ 七ハテナト是からだハテナ 三人「何にがハテナダイ早く書け 七今書くこう
 して 三人「何を考へて居るのだ、をやく旨まく右へ曲そうだぜ 七ラットそう旨
 くゆく物かたとふく左りへ曲て了いました。

壽 限 無

お芽出度お話を申し上げます、子寶を申しまして世に子ほど大切なものは御座いま
 せん、最も子供より金の方が宜いと云ふ方も大分見へますが、子供があると無いと

は年を老てから違ひます、御婦人は子供を産のが役で、俗に云ふ疊の目が見へないと云ふ位の苦しいもので、當今は産婆學校卒業の若いお婆さんが御座います、女が年を老れば婆と極つて居る、處が十八歳二ヶ月杯と云ふ老婆が御座います、夫でも表看板には産婆と書て御座います、本來は産若としたら宜さうなもので、昔は六十何歳七十歳位のお婆さんが世話をいたしました、當今は子を産む女が三十八歳で産婆が十八歳、大變なお婆さんがある、熊何うしたエ生れたか、女無事に産落しましたヨ、熊生れたのはお姫さまか若様か、女何を云つて居るんだネ、男の子だヨ、熊男とくれば若様だらう、其奴は有難エお婆さんいろく有難う御座いました、
 葵熊さん、一寸御覽可愛い子が生れました、熊何う、へエー不思議なもんだネ、馬鹿に赤いネ、葵赤いから赤坊と云ふちやアありませんか、夫に此の赤い子は大きくなるよ色が白くなると云ひます、熊妙なもんだねエ、赤いのが白くなるのが面白エ、矢張鹽酸か何かで赤を抜んだと見へますネ、葵浸抜と一緒にしては叶ない、熊

さん始めての子で大層喜びまして 熊時に名は何時命るんだエ、何うも赤坊くんと
 呼ぶのは可笑いな 女 恰當今日は七夜だから何とか名を命たら宜らう 熊然うよな
 ア、何うだい俺の名が熊だから、此奴には寅と命たら宜らう 女 寅に熊……何んだ
 か動物園へ行つたやうだネ、一寸熊さん宜い事があるよ 熊何だ 女 横町の隠居さ
 んは物識だつて云ふからアノ人に命名て貰つたら宜いだらう、夫に御隠居さんは長
 命だし、お金はあるし別に不自由も無いから、アノ人にあやかる様何とか名を命て
 もらつたら宜らう 熊 成程、じゃア隠居さんに一ツ頼んで見やう「鑓て熊さん伊勢
 屋と云ふ質屋の隠居さんの處へ出て参りました 熊 隠居さんは御出なさんすかエ、
 隠「コレは、誰かと思つたら熊さんかい、マ此方へお上り 熊 隠居さん少し願
 ひがあつて來ましたが 熊 又袴と羽織ではないか、お前に貸ても宜いが、葬式が済
 でしやうと返して呉れないから困る 熊「コレは驚ろいた、一昨年借た物を未だ覚え
 て居ますかい 熊 誰が忘れる奴があるもんか 熊 年を老ると物を忘れて叶ねエと云

ぶが、イヤにお前さんは物覚えが宜いネ、貸たものならドン／＼忘れなくつては困
 る 匿「冗談云つちやア叶ねエ 熊「處で今日は芽出度事で来たんで 匿「婚禮かナ 熊「イ
 エ若様が生れたんで 匿「ア！然うか、お邸に御分姫があつたのか 熊「エ！ 匿「イヤ
 サ、お邸で御男子御出生あらせられたのか 熊「何だか知らねエが男の子が生れたん
 で 匿「夫で今日喜びに行くのかイ 熊「何サ、俺の處で生れたんで 匿「自分の處で生
 れた者を若様と云ふ奴があるものか 熊「今日が七夜なんで 匿「夫は芽出度な、銀も
 黄金も玉も何かせん、まされる寶子にしかめやも、子供は金にまさつた寶だ 熊「何
 でげすエ今お前さんの云つたのは 匿「アレは萬葉集にある子供を賞た歌で、洵に芽
 出度もの 熊「ヘエ！然うで御座いますか、處で隠居さんお前さんに名を命て貰ふと
 思つて來ましたが、何とか長命を爲さうな芽出度エ名を命ておくんなさい 匿「よろ
 しい、お頼みなら命てあげやう 熊「今日が七夜でお前さんが質屋の隠居だから、恰
 當宜らうと思つて來ました 匿「何んな名が宜いな 熊「何でも丈夫に育つて長命をす

る名を命ておくんなさい 鷹 夫では鶴は千年と云ふから鶴吉とでも命たら何うだい
 鷹 モー些と長く生る名を命ておくんなさい 鷹 夫では龜吉は何うだい、龜は萬年
 と云ふから芽出度名だが 鷹 幾何龜が芽出度たつて萬年経ば死ぬんで御座いませう
 鷹 左様サ、萬年経ば死ぬだらうな 鷹 其奴は面白くねエ、俺の子供は何年経ても
 死なないと云ふ名を命ておくんなさい 鷹 そんな無理な事を云つては困る、夫では
 是は話だが何うだらう壽限無と命たら 鷹 何でがすエ、其壽限無とは 鷹 壽と云ふ
 文字は壽、限は限る、無は無し、詰り壽命限りなしと云ふ事だな 鷹 其奴は有難エ
 モツと芽出度エ名はありませんかい 鷹 五光のすりきれず 鷹 何でげすエ夫は 鷹 五
 光は 鷹 天とう様の光りだ、俗に五光がさすと云ふ、アノ五光ばかりは何な物に當
 つても決してすりきれない、従つて丈夫で長命なもので 鷹 成程、其外に何か芽出
 度エのはありませんか 鷹 貝砂利水魚のスイギヤウバツ 鷹 夫は何う云ふ譯で 鷹 貝
 砂利と云ふから貝に砂利だ、是は何の位る海にあるか數が知れぬ、スイギヤウバツ

と云ふのは、水の行末と文字に書く、水は何萬何千里行くか判らない、詰り長く世
 の中に居ると云ふ事だ 熊其奴は芽出度エ、幾ら根の宜い奴だつて、水の行末や砂
 利の勘定は出来ません 熊何うだイ是が宜らう 熊何うでせうモ一少し芽出度エの
 はありませんか 熊夫では何うだイ、風來末と云ふのは 熊何です夫は 熊風の行
 末は判らないと云ふ事だ 熊成程モツと長エ奴はありませんか 熊クネル處にスム
 處とは何うだ 熊何でげすエ夫は 熊海にある藻が水のまに〜〜〜して居る
 數は何の位あるか判らない、又スム處とは正月の飾りにする、アノトコロで、代
 々此の處に住みたい杯と云つてアレを飾にする、芽出度ものだ 熊成程、何か外に
 ありませんかイ 熊夫ではヤーブラ柑子のブラ柑子はは何うだ 熊何う云ふ譯なん
 で 熊藪柑子は葉は落ても實は落ぬもの、夫でブラ〜〜して居て中々落ない、芽出
 度ものだ、夫でヤーブラ柑子のブラ柑子と云ふ 熊モ一些と芽出度エのはありませ
 んか 熊夫では何うだ、バイボ〜〜バイボのシエーリンガン、シエーリンガン

のグーリンダイ、グーリンダイのボンボコビー、ボンボコナーの長久命の長助。此
 の内で宜いのを取つたら宜いだらう。熊其バイボイボと云ふのは何で。熊是は
 昔天笠の王様で長命をした人の名で、シユーリンガンのグーリンダイと云ふ處に御
 出なすつた、ボンボコビーのボンボコナーと云ふは、是も天笠で長命をした御夫婦
 の名で、長久命は長く久しき命、長助は長く助ける、是だナ並べたら氣に叶たのが
 あるだらう。熊濟みませんが初ッから書ておくんさい。隱居さんに書てもらつた
 此の名前、女房と相談しまして此の芽出度名を殘らず寄て一ツにしてしまひました
 から、恐ろしい長いものが出来ました、セツ八ツになると學校に參ります、子供が
 朝誘ひに来る。小供「壽限無く、五光のすりされず貝砂利水魚のスイギョーバツフー
 ライバツクネル處にスム處ヤイブラ柑子のブラ柑子、バイボく、バイボのシユーリ
 ンガン、シユーリンガンのグーリンダイ、グーリンダイのボンボコビー、ボンボコ
 ナーの長久命の長助さん學校へ行ふ。女房「大層金ちやん早いネ、今家のネ壽限無く

五光のすりきれず貝砂利水魚の水行末フリーライバックネル處にスム處、ヤープラ柑
 子のプラ柑子、バイボく、バイボのシエーリンガン、シエーリンガンのグーリンダ
 イ、グーリンダイのボンポコビー、ボンポコナーの長久命の長助は今寝て居るから
 ネ、待て居ておくれ、オイ金ちやんが来たヨ、壽限無く、五光のすりきれず、貝砂
 利水魚のスイギョーバツ、フリーライバツ、クルネル處にスム處、ヤープラ柑子のプラ
 柑子、バイボく、バイボのシエーリンガン、シエーリンガンのグーリンダイ、グー
 リンダイのボンポコビー、ボンポコナーの長久命の長助や、早く起ないか、金、オイ
 く、伯母さん、學校が遅くなるから先へ行くよ、然うで御座いませう、此の名を三
 ツ四ツ呼れば大概遅くなる、學校へ行つて喧嘩をしまして、子供を撲つ、其子が
 云いつけに来るが大變な騒ぎ、小供、伯母さんお前の處のネ、壽限無く、五光のすり
 きれず、貝砂利水魚のスイギョーバツ、フリーライバツ、クルネル處にスム處、ヤー
 プラ柑子のプラ柑子、バイボく、バイボのシエーリンガン、シエーリンガンのグー

リンダイ、グリーンダイのボンポコビー、ボンポコナーの長久命の長助さんが石で頭を撲てこんなに瘤をこしらへたヨ 女房「アラア家の壽限無く五光のすりされず、貝砂利水魚のスイギヨイバツ、フリーライバツ、クネル處にスム處、ヤイブラ柑子のブラ柑子、バイボくバイボのシエーリンガン、シエーリンガンのグリーンダイ、グリーンダイのボンポコビー、ボンポコナーの長久命の長助がお前を撲てコブをこしらへたのかエ、何うお見せ 小供「餘り名が長いので、コブがヒツコンでしやつた。

滑稽江戸砂子

藝人も澤山御座いますが、幫間ほど六ヶ敷ものは御座いませぬ、幫間あげての上の幫間、幫間どらを打して陣を退き、御客様が咳をすれば直ぐ吐月峯、腹が痛いど